

サークルタイム課題

2022. 6. 19 神戸定例会

藤坂龍司

1. サークルタイム課題とは

「サークルタイム」とは、米国のプリスクールなどで、先生と子どもたちが輪になって行う活動のこと。

「サークルタイム課題」とは、このサークルタイムを模して、家庭や事業所などで、子ども本人を中心に、数人が輪になって、集団活動の練習をすること。幼稚園・学校の練習なので、「幼稚園ごっこ」「学校ごっこ」と言ってもよい。米国では、「模擬プリスクール(mock preschool)」「模擬学校(mock school)」ともいう。

本人以外の子ども役は、大人や兄弟が務めてもよいし、誰もいなければ、ぬいぐるみで代用してもよい。だからピアトレと違って、ピアがいなくてもできるし、最悪、大人一人でもできなくはない。その意味で、一番簡単に、家庭でも行える小集団訓練と言えるだろう。

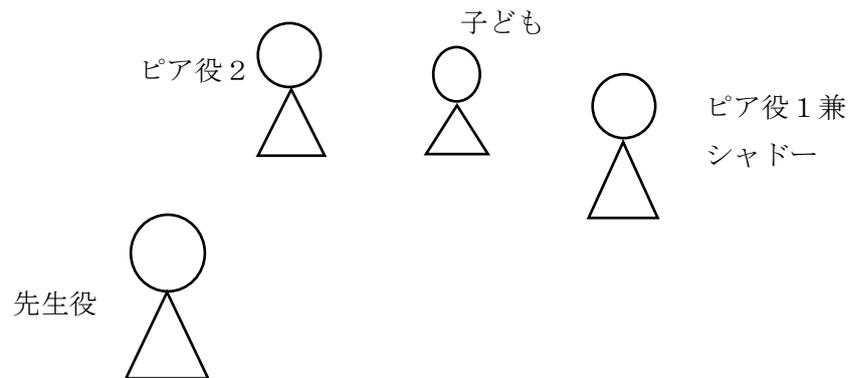
	1対1	小集団	集団
対大人	大人との関わり 遊びや会話	サークル タイム 幼稚園ごっこ	
対子ども	プレイデート (ピアプレイ、ピアトレーニング)	集団 SST 学校ごっこ	スクール シャドー

2. セッティング

先生役の大人一人、対象児、他のピア役数人が必要。対象児に大人が一人、シャドーとしてついた方がよい。

家族で行う場合、例えば、パパが先生役。ママがピア役兼シャドー役。おばあちゃんとお姉ちゃんがピア役。

セラピストが行う場合は、セラピストが教師役。ママがお友だち兼シャドー役。他に家族がいなければ、ぬいぐるみをピアに仕立ててもよい。セラピストかママがぬいぐるみを操作する。



3. 主な活動とねらい

<サークルタイム基礎>

輪になってすわり、先生の指示に従い、先生の話をおとなしく聞き、名前を呼ばれたらお返事をし、簡単な個別又は全体の問いかけに応える。

- ・先生に注目する。
- ・先生の指示に従う。
- ・先生の問いかけに応答する。
- ・不必要に離席せず、適切な姿勢を保つ（うろうろしたり、寝転んだりしない）。
- ・自分の名前に反応する。
- ・全体指示に反応する。
- ・他の子どもの動きに合わせる。他の子どもの行動をまねし、何をすべきかの情報を得る。

<上級サークルタイム活動>

- ・自分が該当するときに反応する。「男の子、立って」「三才の人、手を上げて」
- ・ほかの人の質問を聞いていて、自分が何を聞かれているかを推測する。
「〇〇ちゃんは何色が好き?」「△△ちゃんは?」

・自己紹介

「〇〇です。〇才です。〇〇が好きです。」

・持ち物の説明 (Show & Tell)

「これは〇〇です。赤いです。果物です。おいしいです。」

- ・友だちの話を聞く。
- ・友だちに質問する。

お友だちの、自己紹介や物の説明に質問をする。

<列に並ぶ、一人ずつ順番にする活動、移動>

- ・列に並ぶ。
- ・列が進んだら、自分も進む。
- ・自分の番になったら、前の人と同じことをする。
- ・終わったら、列の最後に戻る。
- ・友だちと手をつないで移動する。

<上級>

- ・背の高い順・低い順に並ぶ。
- ・二列に並ぶ。手をつながなくても、隣の子どもに合わせて動ける。

<全体でする活動>

- ・手遊び歌
- ・体操、ダンス
- 先生やほかのお友だちに合わせて身体を動かす。

<クイズ>

- ・わかったら手を上げる。
- ・当てられたら、答える。

<お絵描き、工作（各自がする活動）>

- ・先生の指示・説明をよく聞き、指示に従う。
- ・指示を聞き逃したら、他の子どものやっていることを見て行動する。
 - 必要なものを取ってくる。
 - 先生が説明している間、姿勢よく待つ。
 - 先生の合図で、活動を始める。
- ・お友だちの領分を冒さない。
- ・物の貸し借り
- ・わからないときに、お友だちのやっていることを見て、情報を得る。
- ・わからないときに、先生に聞きに行ける。手を上げて質問する。

<絵本の読み聞かせ>

- ・おとなしく姿勢を維持してすわってられる。
- ・絵本や先生の話に注目する。

<係の仕事・頼まれ仕事>

- ・先生が「〇〇ちゃん、お願いね」と言ったら、その仕事を引き受ける。
- ・自分が何の役目か覚えていて、「〇〇係さん」と言われたら、反応できる。
- ・配る。
- ・集める。

4. プログラムの例

○点呼「〇〇ちゃん。ハイ」

○インタビュー・自己紹介

「お名前は何ですか」「何才ですか」「何色が好き？」

○名前以外に、自分が該当するときだけ答える

- 〇持ってる人
- 女の子、立って
- 才の人、ハイ

○列に並ぶ。前の人と同じことをする。

ロープジャンプなど。

○クイズ

わかった人は手を上げる。あてられた人が答える。

○持ち物の説明

「私は、○○です。○才です。○○が好きです」

「これはぞうです。ぞうは鼻が長くて、パオーンって鳴きます。」

○歌、手遊び歌

○集団遊び

鬼ごっこなど。

○係のお仕事

「○○ちゃん、みんなの持ってるものを集めてきて」

「みんなにこれを一つずつ配って」